



平成29年3月29日

各 位

会 社 名 アライドテレシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 大 嶋 章 禎
(コード番号：6835 東証第2部)
問合せ先 IR室長 増 田 晴 美
(TEL：03-5437-6007)
(URL <http://www.at-global.com/>)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成29年3月31日に提出を予定しております有価証券報告書におきまして、これまで記載していた「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、平成28年12月期連結会計年度において営業利益5億72百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億11百万円を計上しました。しかしながら、営業活動によるキャッシュフロー4億6百万円に対し、連結会計年度末における金融機関からの有利子負債残高が74億94百万円と多額であり、平成29年6月30日に期間満了となるシンジケートローンの再組成等についても協議中であったことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社グループは、当該状況を解消するため、全社での増収戦略とコスト構造改革を進め、様々な対策を講じるとともに、資金繰り安定化のために取引銀行との協議を続けてまいりました。その結果、本日公表の「シンジケートローン契約の更新に関するお知らせ」のとおり、シンジケートローンの更新について取引銀行と合意に至り、契約更新を決議いたしました。これにより返済期日が延長され、当面の資金繰りの安定化が図られる見込みです。

こうした状況を総合的に検討した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められなくなったと判断し、平成29年3月31日提出予定の有価証券報告書より「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主をはじめとする関係者の皆様にはご心配をおかけしましたが、当社は更なる業績向上と財務基盤の強化に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上